

2007年春季生活闘争開始宣言(案)

景気の拡大は、戦後最長だった「いざなぎ景気」を超え、現在に至っている。しかし、労働者にはその実感はまったくない。

史上最高益を更新し続ける企業は増加し、株主・会社役員への配分が急増する一方で、賃金や家計への配分は下がり続けており、労働者の可処分所得は8年連続して低下している。社会の分配構造の歪みは、ますます労働者の暮らしを圧迫し、格差は拡大している。

経営側は、パート・派遣・請負・契約社員等、低賃金で雇用の不安定な労働者を増やし、正社員には不払い残業や長時間労働を強いている。企業の業績回復は、働くものの犠牲の結果である。

働き方の二極化は、急速な少子化や将来不安を増大させ、社会全体を危機におとし入れる。

われわれは、2007年春季生活闘争において、配分の歪みを是正させ、昨年を上回る賃金改善で、生活を改善させなければならない。

中小対策・パート対策を一段と強化して、中小労働者の格差是正、パート・派遣・請負労働者等の均等待遇を勝ち取る。労働時間の短縮や時間外割増率の引き上げ等による「仕事と生活の調和」を実現させ、働き方と所得の二極化、格差拡大にストップをかける。

われわれは、未組織労働者も含めた全体の底上げをはかる取り組みを強め、特に、パート労働者の待遇改善のため、「だれでも最低1000円の時給を」の社会的メッセージを強く発する。

時間外労働の概念をなくし、不払い残業を合法化する「日本版イグゼンプション」の導入や企画業務型裁量労働制の緩和に断固反対し、労働契約法の制定、パート労働法、最低賃金法、雇用保険法の改正など、組織をあげて、すべての働くものためのワークルールの実現をめざす。

連合京都は、まじめに働く者が報われる公正・公平・安心な社会を実現するために闘うことを誓い、ここに2007年春季生活闘争の開始を宣言する。

「STOP! THE 格差社会」を合い言葉に、暮らしに春の風を呼び込もう。

2007年2月7日

連合京都 2007年春季生活闘争開始宣言・学習会